



秋季全国火災予防運動

～あなたです 火のある暮らしの 見はり役～

11月9日(水)の「119の日」から15日(火)までの1週間、全国一斉に秋の火災予防運動が実施されます。この運動は、火災が発生しやすい季節を迎え、火災予防思想の一層の普及を図り、火災の発生を防止し、高齢者などを中心とする死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的として実施されます。

期間中、松前消防署では、防火パレードや町内事業所の特別予防査察を実施します。皆様のご協力をお願いします。

火災は少しの油断で大切な財産やかけがえのない生命を奪います。また、近年では放火による火災も増加の一途をたどっています。

皆さんもこの運動を機会に、各ご家庭や職場、地域ぐるみで、火災に対する警戒心を喚起し、防火意識をなお一層高めていただきたいと思います。



緊急時のテレホンガイド

地震などの災害発生時、重要なのが通信手段の確保です。しかし、災害発生直後から数日間は、被災地への安否確認、見舞い、問い合わせなどの電話が集中し、携帯を含めた一般電話はつながりにくくなります。緊急時の連絡には、一般電話よりつながりやすい公衆電話(停電時も利用可能)や携帯のメール、NTTの災害伝言ダイヤルやNTTドコモの災害用伝言板を利用しましょう。

災害用伝言ダイヤル「171」の利用方法

震度6弱以上の地震などの災害発生時に稼働する伝言サービスです。局番なしの「171」をダイヤルし、音声ガイドダンスにしたがって、伝言を吹き込んだり、伝言を聞いたりすることができます。利用するのに、事前の契約は必要ありません。サービスの開始は、テレビやラジオで通知されます。

iモード災害用伝言板の利用方法

災害用伝言ダイヤルと同様に、震度6以上の地震などの災害が発生した場合にサービスを開始します。メッセ

ージ登録が可能エリアは、災害が発生した地域を管轄しているドコモ各社の営業エリア全域及びその周辺です。(登録可能エリアの詳細については、「災害伝言板」で確認できます。)

メッセージ登録は携帯電話番号ひとつにつき10件まで可能です。10件を越えるメッセージは古いものから順次、上書きされます。メッセージ保存時間は最大で72時間です。

なお、「i Menu」の「9：お知らせ&ヘルプ」の中に、「災害用伝言板サービスについて」という項目がありますので、確認しましょう。また、今後は元旦を除く毎月1日に、災害用伝言板の体験版を実施予定ですので、使用方法を確認しておくといいでしょう。

※ メッセージを登録できるのは被災地のiモード契約者のみです。

※ 登録された伝言は、インターネットを介して、パソコンや他社の携帯電話などからみることもできます。

専用ウェブサイト<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>にアクセスし、画面表示に従って被災者の携帯電話番号(ドコモ契約者)を入力してください。

救急一〇メモ 救急救命士による気管挿管病院実習について

だれもが自分自身や家族の身に、不慮の事態が発生し、救急現場や救急車で、救急救命士の応急処置を受ける可能性があります。

今、心臓や呼吸が停止している患者さんに対して救急救命士が行う救命処置を高度化する取組みが始まっています。

平成16年7月から、一定の条件を満たす救急救命士に対して、気管挿管(気管チューブという呼吸管理器具を用いた気道確保)が可能となったのもそのひとつです。

救急救命士が気管挿管を実施する条件には、所定の講習を修了するとともに病院での実習が必要です。手術を受けられる患者さんの同意のもとで行われる救急救命士の気管挿管の病院実習にご理解とご協力をお願いします。

